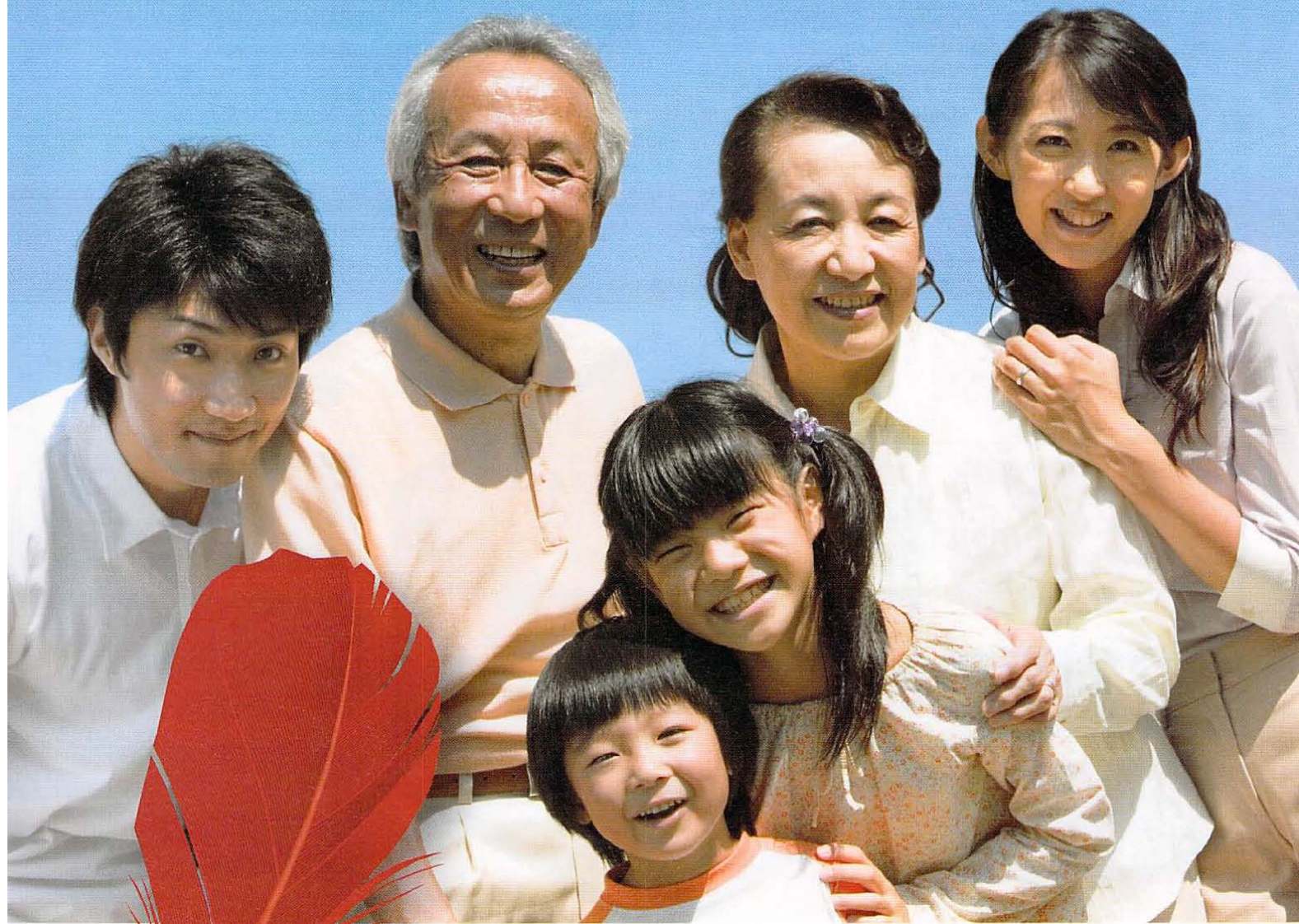


みんなを

笑顔に

赤い羽根共同募金

赤い羽根の募金活動は、町の人々のやさしい気持ちを集める活動です。あなたのやさしさが、声かけが、行動が、きっと、あなたの町を変えていくはじめの一步となるはずです。そして、町は笑顔でいっぱいにあふれるでしょう。



地域の福祉、みんなで参加

赤い羽根共同募金は、高齢者、障がい者、子どもたちなどへの、あなたの地域の福祉活動を支援する募金です。災害時には「災害ボランティアセンター」の設置や運営など被災地支援にも役立っています。

あなたの募金は、あなたの地域の福祉事業に活かされています

共同募金への一定以上の寄付には、税制上の優遇措置があります。

こんな募金方法もあります！



オリジナルクオカード
1枚1,000円（額面500円）



バッチ
1個1,000円



愛ちゃん 希望くん

平成25年度 10月1日～12月31日



社会福祉法人 京都府共同募金会

〒604-0874 京都市中京区竹屋町烏丸東入る清水町375番地
京都府立総合社会福祉会館（ハートピア京都）7階
TEL.075-256-9500 FAX.075-256-9505



もっと知ってほしい話がたくさん。
赤い羽根ホームページ

<http://www.akaihane-kyoto.or.jp>

共同募金運動について

赤い羽根共同募金は、「じぶんの町を良くするしくみ」です。

赤い羽根の共同募金は、1947年（昭和22年）に「国民たすけあい運動」として始まり、当初は戦後復興の一助として、被災した福祉施設等への資金支援の機能を果たしてきました。その後、「社会福祉法」にもとづき、民間の地域福祉の推進のため、多くのボランティアの方々の協力のもと毎年10月から12月の期間「共同募金運動」が行われます。

共同募金の使いみちは、地域福祉の推進を目的とし、少子高齢化が進む中で、高齢者、障がい者、子どもたちなどへの福祉活動や、地域で様々な福祉課題に取り組むボランティア活動などに役立てられています。

赤い羽根共同募金は、助成の計画を立ててから募金を集める仕組みです。

地域の民間福祉のニーズを把握してから募金活動を行う「計画募金」という方法をとっています。これは他の募金には見られない、共同募金の特徴です。

各市区町村の福祉の現場からの「自分の町を良くしたい」という思いをもとに、目標額を設定し、募金活動を行っています。

募金方法として、戸別募金、街頭募金、法人募金、職域募金等のほか、バッチ、クオカードによる募金などを行っています。

また、京都府共同募金会では、共同募金活動を幅広く知っていただくため、「ふれあいコンサート」の開催などの新しい取組も行っています。

地域で集めた募金は、集めた地域で使われています。

募金の約7割は、みなさんがお住まいの市区町村のために使われています。また、残りの約3割は市区町村を越えた、より広域的な課題を解決するための都道府県域の活動に使われています。

災害に赤い羽根共同募金は使われています。

募金額の一部は毎年「災害等準備金」として積立てられており、東日本大震災、昨年の京都府南部豪雨災害などの災害発生時には、災害被災地で速やかに支援活動が行えるようボランティアセンターの開設・運営のための資金として、また、被災した福祉施設の復旧支援に使われます。

じぶんの町にも、もしもの時にも赤い羽根共同募金は役立てられています。

◎募金実績

年度	京都府全体募金実績	対前年度比
平成24年度	358,737,407 円	100.1%

これまでの最多募金額 504,322,680 円 (H7)